

## 【 文京区 】胃がん検診（胃部エックス線検査） 平成28年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく胃がん検診の実施状況&gt;

対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	34,689	43,253	77,942
【東京都調査による対象者率(区部)：58.7%】			
実際の受診者数	2,285	2,898	5,183

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	11.2%	11.4%	11.3%
要精検率	11%以下	5.4%	4.1%	4.7%
精検受診率	70%以上	54.5%	55.0%	54.7%
精検未把握率	10%以下	45.5%	45.0%	45.3%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	3.3%	3.3%	3.3%
がん発見率	0.11%以上	0.18%	0.14%	0.15%

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	していない
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

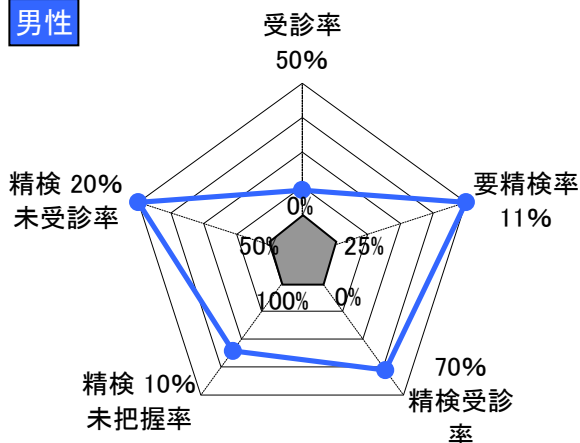
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

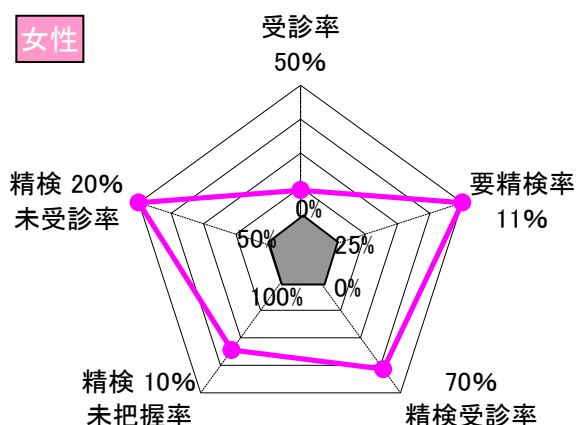
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 文京区 】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	51,705	62,095	113,800
【東京都調査による対象者率（区部）：62.3%】			
実際の受診者数	7,678	13,158	20,836

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	していない
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	23.8%	34.0%	29.4%
要精検率	7%以下	10.2%	7.0%	8.1%
精検受診率	70%以上	49.3%	44.9%	46.9%
精検未把握率	10%以下	50.7%	55.1%	53.1%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	2.4%	3.0%	2.7%
がん発見率	0.13%以上	0.25%	0.21%	0.22%

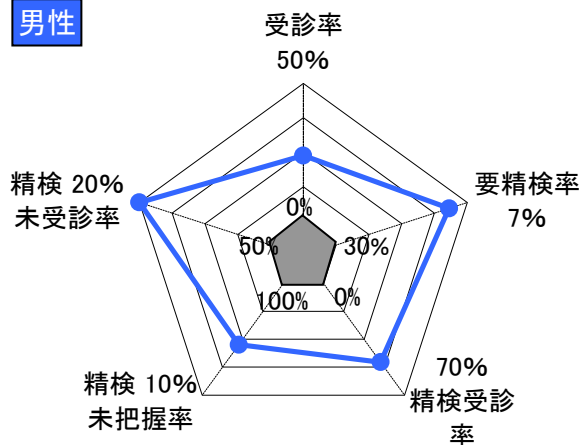
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

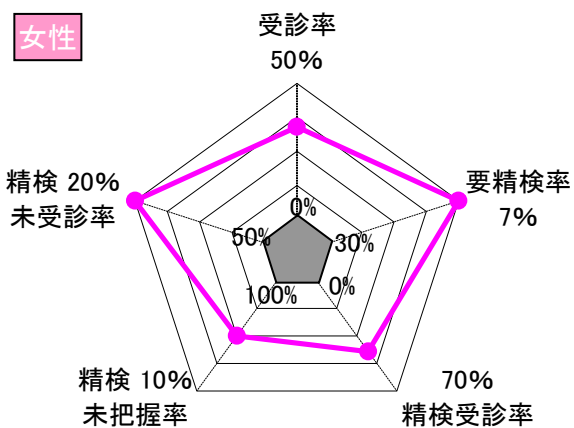
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

## 【 文京区 】 子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		94,988	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		8,566	

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		27.4%	
要精検率	1.4%以下		2.5%	
精検受診率	70%以上		76.4%	
精検未把握率	10%以下		23.6%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		0.5%	
がん発見率	0.05%以上		0.01%	

#### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 【評価結果】

##### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

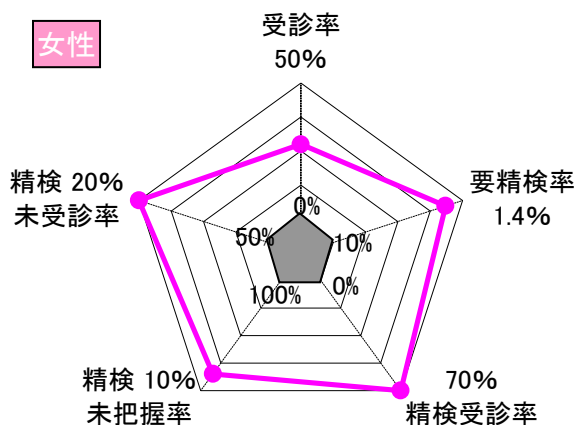
##### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

##### <精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

女性



## 【 文京区 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		62,095	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		5,539	

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		24.5%	
要精検率	11%以下		11.5%	
精検受診率	80%以上		36.6%	
精検未把握率	10%以下		63.4%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		1.3%	
がん発見率	0.23%以上		0.14%	

#### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 【評価結果】

##### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

##### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

##### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

##### <精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

女性

